

# 蓄熱の科学と工学に関する国際シンポジウム2022

## 「蓄エネルギー技術としての蓄熱技術の最前線」

主催：公益社団法人日本伝熱学会

共催：国立大学法人北海道大学大学院工学研究院、JST COI-NEXT「地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食糧生産コミュニティの形成拠点」

協賛：一般社団法人日本機械学会、公益社団法人化学工学会エネルギー部会、公益社団法人化学工学会熱工学部会

### 開催趣旨

再生可能エネルギーの大量普及に向けた蓄エネルギー技術の一つとして、蓄熱技術に新たな価値が見出されています。本シンポジウムでは、蓄エネルギー技術としての蓄熱技術（通称：カルノーバッテリー/蓄熱発電）をメインピックアップとして、蓄熱技術の科学と工学に関する国内外の最先端の研究・開発事例を俯瞰し、実装に向けたビジョンを議論します。

### 開催日時

2022年9月5日(月) 15:00-19:15（終了予定）

### 言語

日本語/英語の同時通訳

### 開催方法

オンサイトとオンライン（Zoomを使用予定）のハイブリッド

- ・オンサイト会場：北海道大学工学部オープンホール

<https://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/about/building/openhall/>

- ・オンラインでの参加方法：オンライン会場URLを開催日より3日以上前にメールにてお知らせします。

### 参加費

5000円（税込み）

### 参加登録

以下のWebの参加申込みサイトからお申し込みください。

<https://ec-convention.com/tesse2022/>



### 参加申込締切

2022年8月26日（金）

### お問い合わせ先

北海道大学大学院工学研究院 能村研究室 秘書 三友/伊藤

TEL: 011-706-6842

Email: [nms-tropy@eng.hokudai.ac.jp](mailto:nms-tropy@eng.hokudai.ac.jp)

cc: [k.mitomo@eng.hokudai.ac.jp](mailto:k.mitomo@eng.hokudai.ac.jp) / [itoaki0105@eng.hokudai.ac.jp](mailto:itoaki0105@eng.hokudai.ac.jp)

## プログラム

15:00 開会挨拶

公益社団法人 日本伝熱学会 会長  
高松 洋

シンポジウム趣旨説明

国立大学法人北海道大学大学院工学研究院  
能村 貴宏

15:14-16:50: 第一部（講演15分 交代時間1分）

「経済的脱炭素社会に必要な蓄熱発電」

一般財団法人 エネルギー総合工学研究所  
岡崎 徹

「蓄熱技術のカーボンニュートラル社会への貢献」

国立大学法人東京工業大学科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所  
加藤 之貴

「高エネルギー密度な化学蓄熱システムの開発」

愛知製鋼（株）  
神谷 啓志

「高温用潜熱蓄熱材 $\mu$ -MEPCMの開発とカルノーバッテリーへの応用に向けた検討」

国立大学法人北海道大学大学院工学研究院  
能村 貴宏

「再生可能エネルギーの余剰電力を活用する汽力発電所向け

大規模潜熱蓄熱システムの概念設計」

三菱重工業（株） 総合研究所 伝熱研究部  
山名 崇裕

「岩石蓄熱システム実証」

東芝エネルギーシステムズ（株）エネルギーシステム技術開発センター  
岩城 智香子

16:50-17:00 休憩

17:00-18:30 第二部 欧州におけるカルノーバッテリーに関連するプロジェクト事例と蓄熱技術開発の動向

18:30-19:15 第三部 質疑応答およびパネルディスカッション

19:15～

閉会挨拶

国立大学法人北海道大学大学院工学研究院

石井 一英

\*コロナ感染の状況によっては、完全オンラインで実施する可能性があります。あらかじめご了承ください  
ますようお願い致します。